和痛分娩（硬膜外麻酔）について

1. 当院の方針

当院では **母体と胎児の安全を最優先** に、分娩時の痛みを和らげる手段として硬膜外麻酔を用いた「和痛分娩」を提供しています。

- **医学的適応のある妊婦** だけでなく、**ご希望による和痛分娩** も実施いたします。
- 総合病院の利点を生かし、麻酔科医および産婦人科医による専門的な痛みの管理と、NICU を含む総合的な周産期医療体制によって、より安全で安心な分娩を実現します。
- 医学的適応・ご希望どちらの場合も**計画分娩（管理入院）** で行います。夜間・休日はマンパワーの都合上、原則として和痛分娩は行っておりません。
- **予約制（先着順）**となります。希望者が多数の場合は、お受けできないことがあります。

2. ご利用いただける方

区分	代表的な適応・条件
医学的適応	妊娠高血圧症候群、先天・後天性心疾患 もやもや病、てんかんなどの頭蓋内疾患など
ご希望による 和痛分娩	経腟分娩予定の方 妊娠 37 週以降で母子ともに安定、計画分娩にご同意いただける方

※最終適応は産婦人科・麻酔科・関連診療科の麻酔前評価で決定いたします。

3. 分娩スケジュール（計画分娩）

1. **妊娠 22 週頃から**
   - 和痛分娩教室の受講
2. **妊娠 30 週頃から**
   - 産婦人科外来で説明、同意書の記入
   - 麻酔科医の麻酔前評価（既往・合併症・血液検査・脊椎評価など）
3. **妊娠 38 週後半～39 週**
   - 硬膜外麻酔の前日以前に入院
   - 分娩誘発（子宮頸管バルーン・オキシトシン等）を個別に計画
   - 日勤帯（9:00～17:00）に硬膜外カテーテルを挿入し鎮痛開始
4. **分娩当日～産後**
   - 麻酔科医・産科医・助産師がチームでモニタリング
   - 産後 24 時間以内に硬膜外カテーテル抜去、早期離床を促進

4. 硬膜外麻酔の流れ

1. 腰椎間からカテーテル挿入（局所麻酔下）
2. 少量の麻酔薬を注入し、麻酔の効き具合の確認
3. 低濃度局所麻酔＋オピオイドを持続投与
4. 鎮痛評価と副作用チェック
5. 産後管理（感覚・運動機能の回復確認）

5. 安全対策

- 24 時間対応の院内緊急蘇生システム（ドクターブルー）
- 母体・胎児モニター、除細動器、緊急帝王切開チーム完備
- 硬膜外和痛分娩プロトコール・和痛分娩看護マニュアルを整備

6. リスクと副作用（主なもの）

リスク	発生頻度	主な対応
血圧低下	数%	早期検知、昇圧薬使用
発熱	10%前後	体温管理、必要に応じ抗生剤
硬膜穿刺後頭痛	0.5-1%	安静、補液、ブラッドパッチ
局所麻酔中毒	極めて稀	用量管理、脂質救命療法

7. よくあるご質問（FAQ）

Q. 歩き回れますか？

A. 低濃度麻酔のため足のしびれは軽度ですが、基本的には分娩室、陣痛室で過ごしていただきます。

Q. 妊娠何週頃に申し込みをすればよいですか？

A. 予約制（先着順）となります。準備の都合上、原則として妊娠 32 週以降の受付は致しかねますので、希望される場合は出来るだけ早めに担当医に相談することをお勧めします。

Q. 計画分娩より前に陣痛が来た場合は？

A. 計画分娩であっても入院予定日より前に自然陣痛や破水が起こる可能性があります。その際は、安全上の理由から原則として和痛分娩を実施できません。ご希望に沿えず残念ですが、母体と胎児の安全を最優先に対応いたします。どうぞご理解ください。

Q. 費用はどのくらいかかりますか？

A. 和痛分娩は自費診療となり、通常の分娩費用とは別にかかります。麻酔前評価のための検査に２～３万円（目安)、和痛分娩加算として１４万円を事前にお支払いいただきます。

8. お申し込み・お問い合わせ

- **産婦人科外来（完全予約制）**
  月～金 9:00-16:00（祝日除く）
  TEL：059-345-2321（代表）

9. 今後の取り組み

当院では、夜間・休日も含めた 24 時間体制での和痛分娩提供を目指し、人員・設備の拡充を進めています。安全かつ満足度の高い分娩環境を提供できるよう、スタッフ一同努力してまいります。

三重県立総合医療センター 産婦人科／麻酔科